

早稲田大学 社会科学部
2023年度 入試問題の訂正内容

<社会科学部 一般選抜>

【世界史】

●問題冊子7ページ：設問Ⅲ 問4

選択肢の記述に不適切な部分があったため、適切な解答に至らないおそれがあると判断しました。当該箇所Ⅲの設問につきましては、解答の有無・内容にかかわらず、受験生全員に得点を与えることといたします。

以上

2023年度
世 界 史
(問 題)

〈R05173418〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、試験開始後、解答用紙の氏名欄に氏名を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) マーク欄には、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良	○ 悪	○ 悪
マークを消す時	○ 良	○ 悪	○ 悪

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、問1、問2および問4～9について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。問3の解答については、記述解答用紙の所定欄に記入せよ。

アフリカ大陸で最もはやく成熟した社会と政治組織が生まれたのは、ナイル川下流域のエジプトである。ナイル川中域に住む人々は、エジプトから社会や政治の仕組みを取り入れ、前10世紀頃クシュ王国が建国された。クシュ王国は、約1000年エジプトや紅海方面との交易で繁栄したが、アフリカ大陸東部に紀元前後頃に成立した(A)王国によって、4世紀に滅ぼされた。

アフリカ大陸北西部では、8世紀にはガーナ王国が興り、サハラ砂漠を超えて地中海沿岸地域との交易で繁栄した。11世紀後半になると、(B)朝が、軍を送りガーナ王国を衰退させた。(B)朝は、12世紀半ばムワッヒド朝に滅ぼされた。しかし、(C)ムワッヒド朝は、13世紀初めに衰退した。13世紀に成立したマリ王国は、14世紀に最盛期を迎えた。その後、15世紀には(1)ソングアイ王国が成立した。アフリカ大陸南部では、11世紀頃から、ザンベジ川とリンボポ川流域に、(E)モノモタパ王国などが成立した。

(F) 10世紀以後には、(G)北アフリカやイベリア半島出身の学者が活躍し、諸学問を高度に発展させた。また、東アフリカでは、(H)スワヒリ文化が開花した。東アフリカの沿岸には、10世紀以後、港市が発展した。西アジア各地から交易のために、アラブ系やイラン系の商人が訪れ、現ソマリアの港市モガディシュと現ケニアの港市であったマリンディには15世紀に明の皇帝(1)が派遣した鄭和の艦隊が訪れた。

問1 (A)王国に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 王家は、エジプトからやってきたヌビアの人々であった。
- b. ハイレ=セラシエが長期にわたり在位し、国民の信頼を集めた。
- c. 単性論派のキリスト教を受容し、国内にキリスト教が広まった。
- d. ナイル川流域にあった都市メロエに遷都し、製鉄と商業で栄えた。

問2 (B)朝に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 政権を建てたクルド人は、7世紀のアラブ人による征服後イスラーム教に改宗したが、言語や社会的・文化的独自性を維持するものも多かった。
- b. アチェ王国の商人がもってきた砂糖と銅の取引で栄えた。
- c. マラケシュを都とし、サハラ砂漠以南への遠征や、イベリア半島への進出を行った。
- d. 第5代スルタンのバイバルスのとき支配体制が確立された。

問3 下線部(C)の背景の一つである国土回復運動(レコンキスタ)とはいかなるものか。35字以内で説明せよ。なお、句読点も1字として数えよ。

問4 下線部(D)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 現在のセネガルからタンザニアにかけての地域に成立した王国であり、イスラーム教を受け入れ、14世紀に最盛期を迎えた。
- b. ザイール川流域大湾曲部に位置した都市トンブクトゥはサハラ縦断交易とメッカ巡礼の拠点として繁栄した。
- c. 国王マンサ=ムーサは、数千人の従者を連れてメッカ巡礼を行った。
- d. 大ジンバブエ遺跡と呼ばれる巨大な石造建築の遺跡が発見された。

問5 下線部 (E) に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 当初はブニョロ王国に従属していたが、ブニョロを倒してこの地域の支配権を握った。
- b. ソファアラを都とし、サハラ縦断交易で金・岩塩を交換して栄えた。
- c. アスキア＝ムハンマドの治世に最盛期を迎え、イスラーム文化が栄えた。
- d. 16世紀末、火器を装備したベニン王国の侵入で崩壊した。

問6 下線部 (F) に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. ンデベレ人が建国した王国である。
- b. 現ジンバブエから現モザンビークにかけての地域を版図とし、インド洋交易で栄えた。
- c. 14世紀にチャド湖西岸のボルヌー地方に遷都した。
- d. 16世紀から17世紀にかけてイギリスの圧迫を受けたのち、周辺諸民族の侵入と内紛により衰退した。

問7 下線部 (G) について、人物と関連する著作の組み合わせのうち、正しいものを1つ選べ。

- a. イブン＝ハルドゥーン —— 『政治学』
- b. イブン＝ルシュド —— 『世界史序説』
- c. フィルドゥシー —— 『四行詩集 (ルバイヤート)』
- d. イブン＝パットゥータ —— 『三大陸周遊記 (旅行記)』

問8 下線部 (H) に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. スワヒリ文化は、現在のジブチからモザンビークにいたる海岸と諸島部の住人の言語・文化である。
- b. スワヒリ文化は、アラビア半島やインドの文化の影響を受けて開花した。
- c. スワヒリ語は、マンデ諸語を基盤に外来語を取り入れた東アフリカの広域共通語であり、商業上の必要から生まれた。
- d. スワヒリ都市として栄えたモンバサの住民の多くはキリスト教徒であった。

問9 明の皇帝 (I) に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 明の刑法典である明律を作成し、日本など近隣諸国の法制度に影響を与えた。
- b. 漢人皇帝としては唯一、自らゴビ砂漠を超えて親征し、モンゴルやオイラトを攻撃した。
- c. 9歳で即位し、宦官に実権をにぎられるなかで雲南や福建の民衆反乱に苦しんだ。
- d. 諸王の領地削減を進め、靖難の役を招き、南京陥落時に消息不明となった。

II 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

人類史を通じて、戦争と社会（政治、経済、技術、文化等）の変容は相互に深く関連してきた。

例えば、戦争は、外的脅威に対抗する地域的同盟や地域統合形成の契機となってきた。(B)と(C)と、ギリシアの諸ポリスとの間に起きた(A)ベルシア戦争はその一例である。また、技術の伝播や地域間交流、文化圏の形成と戦争との間の密接な関わりを示す事例も多い。さらに、戦争はしばしば(E)国際秩序の変容・再編をも促してきた。

16世紀以降、大陸間交易や商品の生産増および多様化から世界の一体化が進むと、戦争の広域化が生じた。(G)七年戦争はその一例といえよう。加えて、(H)アメリカ独立戦争は、他地域での革命・独立運動の連鎖の起点にもなった。

20世紀に入ると、ナショナリズムのいっそうの昂進や急速な技術革新の下、戦争の全面化・総力戦化が進み、核兵器などの大量破壊兵器が登場したことにより、戦争の違法化とともに(I)軍縮・軍備管理の試みも模索されるようになった。一方で、冷戦終結から今日にいたるまで、2001年に起きた同時多発テロ事件を端緒とする(J)「対テロ戦争」や内戦など深刻な武力紛争が頻発している。

問1 下線部 (A) に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. ペルシア戦争勝利後、エーゲ海周辺の多くのポリスはペルシアの再侵攻に備えてペロポネソス同盟を結び、アテネはその盟主となった。
- b. 2度の世界戦争を経た影響力低下への反省から、ヨーロッパ再生のため、1952年にドイツ・イタリア・ベネルクス3国の間でヨーロッパ経済共同体 (E E C) が設立された。
- c. 東西対立の激化を受け、北大西洋条約に基づいて西側の集団的自衛のために発足した北大西洋条約機構 (N A T O) は、冷戦終結後も加盟国を東方に拡大させ、存続している。
- d. 東西対立における東側諸国が調印した条約に基づいて設立されたワルシャワ条約機構は、冷戦の終結を機に、上海協力機構に改組された。

問2 (B) について述べた次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 前6世紀半ば、ダレイオス1世が興し、メディア王国とリディア王国を征服したのち、バビロンを開城して、ユダヤ人を捕囚から解放した。
- b. ダレイオス1世は、エーゲ海北岸からガンジス川にいたる大帝国を建設した。
- c. ダレイオス1世は、各州に知事 (サトラップ) をおいて全国を統治し、「王の目」「王の耳」と呼ばれる監察官を用いて中央集権化をはかった。
- d. ダレイオス1世は、金貨・銀貨を発行し、税制を整え、陸上では全国の要地を結ぶ「王の道」と呼ばれる国道をつくり、都ビザンティオンを中心に駅伝制を整備した。

問3 下線部 (C) に関連して、アテネ民主政に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 前5世紀半ば頃に完成したアテネ民主政では、18歳以上の男性市民で構成された民会が多数決で国家の政策を決定した。
- b. アテネ民主政では、軍事の最高職である将軍職は、陪審員による投票によって選ばれた。
- c. アテネ民主政における陪審員は、応募してきた20歳以上の成人男性市民からくじで選ばれた。
- d. 英語のデモクラシーは、「民衆の平等」を意味するギリシア語デモクラティアが語源である。

問4 下線部 (D) に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. ペルシア戦争は、ペルシアの支配に対し、ミレトスを中心としたトラキア地方のギリシア人植民市が反乱を起こしたことをきっかけに始まった。
- b. ペルシアは、反乱を支援したアテネに遠征軍を差し向けたが、アテネ市民の重装歩兵軍は、前490年のマラトンの戦いでペルシア軍を打ち破った。
- c. アテネはペリクレスの指導により海軍を拡充し、前480年のサラミスの海戦では、ギリシア連合軍がペルシアの大軍を大敗させた。
- d. カイロネイアの戦いでギリシア側の勝利が決定的となり、これによりギリシア人は、オリエントの専制支配からポリスの独立と自由を守ったという自信を深めた。

問5 下線部 (E) に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. ギリシア・マケドニアの連合軍によるアレクサンドロスの東方遠征により、東西文化を融合させたヘレニズム時代がもたらされた。
- b. 唐が新羅を攻めて滅ぼした際、日本は新羅復興のための援軍を送ったが、663年白村江の戦いで唐と百済の連合軍に大敗した。
- c. 751年中央アジアで起きた、唐軍と後ウマイヤ朝軍との間のタラス河畔の戦いでは、唐軍が大敗し、この時捕虜となった唐の紙漉工から、製紙法がイスラーム教徒に伝えられた。
- d. フビライは、アリクブケの乱を平定すると、首都を成都に移し、ユーラシア大陸の物流ネットワークを整備した。

問6 下線部（F）に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 三十年戦争を終結させ、ヨーロッパ主権国家体制確立の契機となったとされるウエストファリア条約により、ベルギーとオランダの独立が国際的に承認された。
- b. ウィーン会議で形成された19世紀前半のヨーロッパの国際秩序であるウィーン体制では、自由主義とナショナリズムの運動の抑圧がはかられた。
- c. 第一次世界大戦後、ヴェルサイユ体制を維持するために国際連盟が設立されたが、アメリカの下院はヴェルサイユ条約の批准を拒否し、アメリカは国際連盟不参加となった。
- d. 第二次世界大戦後、金ドル本位制の下で国際資本移動の自由化を実現するために、国際通貨基金（IMF）と国際復興開発銀行（IBRD）を軸とするブレトン＝ウッズ国際経済体制が発足した。

問7 下線部（G）に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. オーストリアとプロイセンを主軸とする国際戦争であり、オーストリア側にはフランスとスペインが、プロイセン側にはイギリスとロシアがついて戦われた。
- b. フレンチ＝インディアン戦争では、北米において、イギリスと先住民が連合してフランスと戦った。
- c. フレンチ＝インディアン戦争に敗れたフランスは、ミシシッピ川以西のルイジアナをイギリスに譲渡した。
- d. フベルトゥスブルク条約でオーストリアとプロイセンの講和が成立し、プロイセンはシュレジエン領有を守った。

問8 下線部（H）に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. トマス＝ジェファソンが中心となり、起草された独立宣言は、基本的人権や革命権について言及し、フランス人権宣言にも影響を与えた。
- b. フランスのラ＝ファイエットやロシアのコシューシコ（コシチューシコ）など、独立軍に進んで参加したヨーロッパ人もいた。
- c. アルゼンチン出身のシモン＝ボリバルは、アンデス山脈を越えて進軍し、1818年、チリ共和国の独立を宣言した。
- d. ラテンアメリカ地域における独立運動を通じて、1820年代にはボリビアを除くほとんどの国が独立を達成し、ウィーン体制に動揺を与えた。

問9 下線部（I）に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 既に核兵器を保有していたアメリカ、ソ連、イギリス、フランス、中国以外の国の核兵器保有を禁止した核拡散防止条約（NPT）は、1995年に条約の無期限延長が決定された。
- b. 第1次戦略兵器制限交渉（SALT I）の結果、ソ連のブレジネフとアメリカのカーターは、大陸間弾道ミサイルと潜水艦発射弾道ミサイルを当時の水準で凍結することに合意した。
- c. 地下核実験を含む全ての核実験を禁止する包括的核実験禁止条約（CTBT）は、アメリカ、イギリス、フランス、ロシア、中国などの核保有国が批准していないため発効していない。
- d. 2017年に国連総会で採択された、将来的な核兵器の廃絶に向け、核兵器を包括的に禁止する核兵器禁止条約は、批准国が50カ国に達していないため未だ発効していない。

問10 下線部（J）に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. アフガニスタンのターリバーン政権の保護下にあるアル=カーイダが同時多発テロ事件の実行者であるとして、2001年、アメリカ、イギリス、ロシアは国連安全保障理事会の決議に基づきアフガニスタンに対する空爆を行った。
- b. 2003年、アメリカは、イラクが大量破壊兵器を所有するテロ支援国家であるとの理由から、イギリス、フランスとともにイラク攻撃を行った。
- c. 2011年に始まったシリア内戦では、アメリカはシリア政府軍を、ロシアはシリアの反体制派をそれぞれ支援した。
- d. 2014年、クリミアやウクライナ東部のロシア系住民による分離運動が起こり、ロシアはクリミアの併合を強行した。

Ⅲ 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

キリスト教は、古代からヨーロッパ社会において人々の精神的支えとなり、歴史的に政治権力と様々な関係を取り結んだ。中世ヨーロッパにおいて、ローマ=カトリック教会の権威は、フランク王国との結びつきや修道院運動を通じて発展し、西ヨーロッパ全体におよぶようになった。

中世における教会の発展は、学問の発達も促した。信仰を論理的に体系化しようとするスコラ学が始まり、普遍は現実に実体として存在すると主張する **あ** と普遍は思考の中に存在すると主張する **い** との論争が起きた。

い はウィリアム=オブ=オッカムらによって代表され、後に17世紀のフランスでデカルトらによって展開された **う** につながった。

中世末期になると、十字軍の失敗と世俗の権力の伸張を背景にローマ教皇の権威は衰え始め、1378年から1417年まで続いた教会大分裂は、教会と教皇の権威を決定的に失墜させた。このような中でキリスト教の革新運動が各地でおこった。これらの運動は教会の弾圧で失敗に終わるが、16世紀における宗教改革へとつながった。

16世紀の宗教改革は、一方で宗教的対立へと発展し、フランスでは1562年から1598年にかけて **え** という内乱が続いた。他方で、イエズス会を中心とする対抗宗教改革の運動は、スペインやポルトガルによる大航海時代と連動して、16世紀の東西交流を促進させた。中国では、康熙帝の時代にイエズス会宣教師の方法以外でのキリスト教の布教が禁止されたが、宣教師たちによって西洋の技術がもたらされた。また、シノワズリと呼ばれる **お** がヨーロッパで流行したことは、宗教改革と大航海時代とが結びついてもたらされた東西文化交流の結果といえよう。

問1 下線部（A）に関連して、ヨーロッパ史におけるキリスト教と政治権力との関係を示す歴史的事例を述べた次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. フランク王国のクローヴィスは、496年にネストリウス派に改宗し、ローマ教皇の支持を取りつけて権力基盤とした。
- b. 1534年にイギリスで発布された統一法で、国王を「国教会の最高の首長」とするイギリス国教会が成立した。
- c. ロシアは、オスマン帝国内のギリシア正教徒の保護を口実として、1853年にクリミア戦争を開始した。
- d. 第二帝政下のフランスでは、1908年にカトリック教会の政治介入を排除する政教分離法が成立した。

- 問2 下線部 (B) に関連して、ローマ＝カトリック教会と結びついた西ヨーロッパ世界の成立はその周辺世界にも影響を与えた。東・南ヨーロッパとキリスト教の関係について述べた次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。
- クロアチア人は、フランク王国の影響下でローマ＝カトリックを受容した。
 - 第1次ブルガリア帝国を建国したブルガリア人は、ギリシア正教からローマ＝カトリックに改宗した。
 - リトアニア人は、ドイツ騎士団に対抗してリトアニア＝ポーランド王国をつくり、ローマ＝カトリックからギリシア正教に改宗した。
 - マジャール人は、ギリシア正教を受容してハンガリー王国を建国した。

問3

あ	～	う
---	---	---

 に入れる語の組合せとして適切なものを1つ選べ。

	あ	い	う
a.	実在論	唯名論	合理論
b.	唯名論	実在論	経験論
c.	唯名論	実在論	合理論
d.	実在論	唯名論	経験論

問4 下線部 (C) 教会大分裂 (1378年～1417年) の間に世界でおこった出来事について述べた次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- オスマン帝国の攻撃によりコンスタンティノープルが陥落し、ビザンツ帝国が滅亡した。
- 室町幕府の将軍足利義満の下で、日明間の勘合貿易が始められた。
- 明の正統帝がオイラト軍の捕虜となる、土木の変が起きた。
- アルタン＝ハンがチベット仏教黄帽派の指導者にダライ＝ラマの称号をおくった。

問5 下線部 (D) に関連して、教会権威の失墜は文学作品にも影響を与えた。ルネサンス期文学作品について述べた次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- ペトラルカは、著作『デカメロン』の中で社会や教会批判を書いた。
- ダンテは、『神曲』の中で、聖職者をも痛烈に批判した。
- ボッカチオは、『カンタベリ物語』を著して、イギリス社会を風刺した。
- エラスムスは、『愚神礼賛』を著し、平等で精神性に富んだ架空の理想社会を描いた。

問6 下線部 (E) に関連して、ルターやカルヴァンによる宗教改革がそれまで行われた改革運動より広まったのはなぜか。その理由として考えられる最も適切なものを次から1つ選べ。

- ルターが農奴解放や共有社会の実現を求めて農民戦争を先導したから。
- カルヴァンが政治と宗教を切り離す政治倫理を展開したから。
- 活版印刷術が大量の文字情報の伝達を可能にしたから。
- 神聖ローマ皇帝カール5世がルターを支持したから。

問7

え

 に関する説明として次の記述のうち最も適切なものを1つ選べ。

- この戦争は、ユグノーと呼ばれるルター派の新教徒とカトリック間の宗教的対立と貴族間の党派争いが結びついておこった。
- この戦争は、アンリ4世がナントの王令で新教徒に条件つきながら信仰の自由を保障したことにより終結した。
- この戦争中、摂政カトリック＝ド＝メディスの主導で、新教徒が旧教徒を多数殺害するサンバルテルミの虐殺がおきた。
- この戦争中、思想家のボッシュエは主著『国家論』の中で王権による平和と秩序の回復を説いた。

問8 下線部 (F) の康熙帝が行った事績を1つ選べ。

- a. ネルチンスク条約の締結
- b. 軍機処の創設
- c. 『四庫全書』の編纂
- d. 白蓮教徒の乱の鎮圧

問9 清朝が下線部 (G) のような政策を行ったのはなぜか。最も適切な理由を次から1つ選べ。

- a. ローマ教皇が、信徒に祖先祭祀などの伝統儀礼への参加を容認する布教方法を禁止したため。
- b. 漢人社会に根強い「華夷の別」の思想を弾圧するため。
- c. 台湾を拠点とする鄭成功の勢力を孤立させるため。
- d. イエズス会を優遇して、清朝による三藩の乱の鎮圧に貢献させるため。

問10 お に入る文言として最も適切なものを次から1つ選べ。

- a. 光と影のコントラストや躍動的で劇的な表現を特徴とする美術様式
- b. ロカイユに由来する美術様式
- c. 農村や自然の風景を主題とする美術様式
- d. 中国的な図柄や主題を取り入れた美術様式

IV 次の文章を読み、問1～9について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

(A) 東南アジア諸国連合 (ASEAN) は1967年に設立された。原加盟国はインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国であった。これらの国々は東南アジア地域に属するが、「東南アジア」が一つの地域として認識されたのは一般的には第二次世界大戦中、日本軍に対抗するためにイギリス軍のマウントバッテン提督が司令官として当時のセイロンに本部を置いた「東南アジア司令部」に由来するといわれている。

原加盟国であった5カ国はタイ以外のいずれの国もヨーロッパ諸勢力によって植民地化された。初期には商業権益の拡大を目指したが、次第に領土の支配へと移行していった。スペインはフィリピンを領有し、マニラを拠点にアジア貿易を行い、オランダは東インド会社を設立してジャワ島のバタヴィアを根拠地にポルトガル商人を排除して香料貿易の実権を獲得した。

(F) ASEAN後発加盟国となったベトナムの歴史をさかのぼると、ベトナムの宗主権をめぐる清朝とフランスの間で清仏戦争が起きた。その結果、イギリスの仲介で天津条約が結ばれ、ベトナムのフランス保護権が承認された。その後、カンボジアとラオスを編入する仏領インドシナ連邦を成立させた。一方、植民地化を回避したタイはイギリスとフランスとの均衡政策を背景に近代的な統治機構を取り入れるなど近代化を推進した。

世界銀行は1993年に『東アジアの奇跡』を公表するが、報告書では日本を含む東アジアおよび東南アジア諸国の経済成長の分析を行った。これら地域の経済発展は、ASEAN諸国の域内経済協力を進めるためにASEAN自由貿易圏を設立し、ASEAN+3の地域協力の枠組みを構築した。

問1 下線部 (A) に関して、1997年に予定されていたカンボジアの加盟がなぜ1999年に遅れたのか。最も適切な理由を1つ選べ。

- a. 内戦終結のための和平協定が締結されていなかった。
- b. まだベトナム軍がカンボジアから撤退していなかった。
- c. 国連カンボジア暫定統治機構が立憲君主制度に反対していた。
- d. 政党間および指導者間の対立で政変が起き、武力衝突へと発展した。

- 問2 下線部 (B) に関して、シンガポールは1965年に独立をするが、独立に至るまでの記述で最も適切なものを1つ選べ。
- イギリス領ボルネオとともにいったんはマラヤ連邦に併合された。
 - マレー人が主導したマラヤ共産党の影響が大きく、最後までイギリスに独立を反対された。
 - 海峡植民地は元々オランダ、フランスとの権益争いが強く、独立が遅れた。
 - マレーシアのマレー人優遇政策に反発してマレーシアから分離独立した。
- 問3 下線部 (C) に関して、東ティモール民主共和国が独立に至るまでの歴史的経緯で最も適切なものを1つ選べ。
- 東ティモール紛争の最大の原因は、インドネシアとオーストラリアとの間で油田の権益をめぐる対立であった。
 - 東ティモールの独立宣言は、1974年にオーストラリアから移民してきた先住民のアボリジニーが蜂起して行われた。
 - 1975年のインドネシアの軍事侵攻の翌年にはインドネシアの一つの州として併合された。
 - 国連東ティモール暫定行政機構は独立までの間、インドネシアに立法権、行政権、司法権を行使する権限を付与した。
- 問4 下線部 (D) に関して、スペインのフィリピン植民地に関する次の記述のうち最も適切なものを1つ選べ。
- プロパガンダ運動でスペインの植民地支配の協力者を増大させた。
 - 政教分離政策を採用し、フィリピン住民の伝統的宗教を尊重した。
 - 輸出向け商品作物栽培が増え、商人や高利貸などによる大所有地が生み出された。
 - 中北部フィリピンに加えてミンダナオ島全域を統治下に置いた。
- 問5 下線部 (E) に関して、オランダのインドネシア支配に関する次の記述のうち最も適切なものを1つ選べ。
- オランダは1912年にジャワ戦争を制し、20世紀はじめにはほぼ現在のインドネシアにあたる地域を植民地化した。
 - マタラム王国の統治に反対したトルノジョヨの反乱を支持し、王家が有する領土を割譲させていった。
 - オランダはアンボイナ事件を通じてイギリスの支配勢力を締め出した。
 - オランダはスマトラでのパドリ派イスラーム改革運動を制したことで財政収入が改善した。
- 問6 下線部 (F) に関して、ASEAN後発加盟国の加盟前に関する次の歴史的な記述のうち最も適切なものを1つ選べ。
- 1973年1月にベトナム (パリ) 和平協定が締結され、米軍の撤退後、1975年には北ベトナム政府はサイゴンを攻略して南ベトナム政府を崩壊させた。
 - カンボジアでは親中派のヘン・サムリンがクメール・ルージュを倒し、1975年に政権を握り、民主カンブチアを樹立した。
 - ラオスではバテト＝ラオ (ラオス愛国戦線) がベトナムやカンボジアの解放勢力に影響されて、1975年にラオス王国を復活させた。
 - ビルマ (現ミャンマー) では軍が国家を指導する体制を敷くが、1962年にネーウインはクーデターを決行し、革命評議会議長として「ビルマ式民主主義」の国家建設を目指した。

問7 下線部（G）に関して、清仏戦争の講和条約である天津条約と同時期にイギリス領インドでは第1回インド国民会議が開催された。インド国民会議に関する次の記述のうち最も適切なものを1つ選べ。

- a. インド国民会議は、弁護士や技術者・官僚などのエリート層を中心にイギリスからの独立を強く望んだムスリム中心の組織である。
- b. イギリスは、インド国民会議がインド人エリート層の組織であることから民衆への影響力を警戒し、設立直後から組織への弾圧を強めた。
- c. インド国民会議は、1906年のデリーでの大会で英貨排斥・スワデーシ・スワラージ・民族教育の4綱領を決議した。
- d. インド人エリート層を協力者として利用しようとするイギリスと、民族的自覚を高めていったインド人エリート層の思惑が一致して、インド国民会議設立につながった。

問8 下線部（H）に関して、タイに関する次の記述のうち最も適切なものを1つ選べ。

- a. ラーマ5世は、シャムに近代的な内閣制度、新たな税制や官僚制などを導入する近代化政策を進めたが、民族性を残すために伝統的な学校制度は変えなかった。
- b. ラーマ5世時代に、シャムは、影響下にあったラオスがフランスの保護国化の動きでフランスと衝突したが、メコン川左岸などの権利放棄のみで、フランスとの不平等条約を回避できた。
- c. ラーマ4世の時代に、伝統的な王室独占貿易を廃止し、イギリスと修好通商条約を締結した。
- d. ラーマ5世は、イギリスとフランスからの植民地化を回避する戦略として、アユタヤ朝以来続いていた中国との朝貢船の派遣を復活させた。

問9 下線部（I）に関して、「ASEAN+3」首脳会議は1997年夏にはじまったアジア通貨危機・経済危機を契機に開催されたが、次の記述で最も適切なものを1つ選べ。

- a. アジア通貨危機で、外資依存が強かったインドネシアでは、経済の立て直しや民主化の動きが活発になり、長期間にわたったスハルト独裁政権が倒れた。
- b. アジア通貨危機で、独裁国家の民主派勢力が発言力を持ち、フィリピンではマルコス政権からアキノ政権に交替した。
- c. アジア通貨危機を契機に、中国は「一帯一路」経済構想を発表し、ASEAN諸国の経済を支えた。
- d. アジア通貨危機を契機に、日本の呼びかけでより広範な枠組みのAPECが結成され、貿易と投資の自由化が進んだ。

〔以下余白〕

